

彩小ふれあいだより

平成22年11月2日
広島市立彩が丘小学校
校長 竹川 智子

ロング昼休憩全校ドッジボール大会



11月1日(月) その日はやや曇っていたにもかかわらず、児童が外に出るとからっと晴れ、運動日和でした。ここのところ急激に寒くなる日があり、子どもたちの健康を心配していましたが、担当の元田先生が外を確認して、校内放送。「今日はドッジボール大会の日です。運動場に集合しましょう。」と聞いてはりきって子どもたちは集合しました。校長先生から「ねらいは、仲間作りと体力作りです。がんばろう!」と開会のあいさつ。

今回はクラス対抗チームワークも試されるドッジボール大会の日です。ドッジボールは体格や力の差があり、投げる・取る・よけるなど一人一人の技の高さも要求されます。また、当てられそうな友だちを救ったり、みんなで励ましあったり、チームワークも高めます。「やったー!」「しまった!」どの学年からも元気な声が響きました。



「ロング昼休けい」は昨年から体力づくりの一環として取りくんできました。その名の通り、掃除時間をカットして45分間に延長した昼休けいです。彩が丘小学校には十分に広い運動場があります。しかし、どの遊び時間帯でもサッカーやアスレチック、ドッジボール、運動場で遊ぶ姿は一部の児童で、多いとはいええない状況でした。そこで子どもたち本来の、戸外で集団で遊ぶ楽しみを味あわせたいと、毎月2回設定しました。今年度は、シーズンで内容も設定しました。秋はドッジボール大会、冬は長縄です。これから寒い季節になりますが、体調管理に気をつけながらも外で元気に遊び、健康な身体づくりに励んでほしいと願います。

